

❖ 一般財団法人ルンデの設立と寄付のお願い



2017年10月19日に一般財団法人ルンデを設立いたしました。かつての「ルンデの会」および「ルンデあしながクラブ」の理念、活動を引き継ぎ、コンサート・演奏会の主催・後援、演奏家の支援、音楽を生涯学習の一環として活動している団体への支援を柱とし文化および芸術の振興を目的として活動していきます。

皆様からのご寄付を中心に活動していく財団法人となりますので、ご協力お願いいたします。

一般財団法人ルンデ 代表理事 村林 基彦

❖ Halle Runde 建設計画

1981年5月、当時の日本では珍しかった《室内楽専用小ホール》として名古屋丸の内スタートした《Studio RUNDE》は、通常160席最大でも200席というステージと客席の一体感を味わえるホールでした。

タチアナ・ニコライエワ、バルトーク・カルテット、小林道夫、御喜美江、高橋悠治をはじめとする内外の演奏家達に愛され、諏訪内晶子を筆頭に多くの若い才能がこのステージから旅立っていきました。2017年『第15回齋藤秀雄メモリアル基金賞』を受賞した酒井淳は、ルンデが育てたチェリストといっても過言ではないかと思えます。

演奏家が「今、聴かせたい音楽を」というプログラムづくり、それに果敢に挑戦する聴衆という独特な雰囲気をもった、主催公演「ルンデの会例会」は1200回以上催されました。

2007年夏、多くの方々から惜しまれ建物の取り壊しとともに姿を消し、人々の記憶に残るのみとなってしまいました。

あれから10年、名古屋では主催公演を行うホールは減り、室内楽を楽しめる機会もへってきているような気がしていました。日本国内に目をむけてみれば、海外の演奏家は数多く来日していますし、日本人演奏家も精力的に演奏会を重ねています。個人的に演奏を聴く機会をもっと名古屋で増やしたい、ルンデのようなホールがあればとずっと想っていました。そんな折、ルンデ主宰の鈴木詢氏より企画・運営をしているコンサートの今後について相談がありました。対話を重ねていくと新しい「ルンデ」が自分達のやり方で再現できるのではないかという「想い」が「望み」に変わりました。

役員を務めている二つの法人、株式会社デイブレイクフレイバーと有限会社イーキューで自社ビル建設の計画が燦り始めた時でもあり、そのビルに「室内楽専用ホール」をつくるという決心をしました。

《Studio RUNDE》を、懐古的では無く未来を見据えて Halle Runde として建設いたします。

有限会社イーキュー 代表取締役 村林 基彦